

(最先端プログラム+次世代プログラム)

## これまでの決定事項

最先端プログラム (30課題を採択)	次世代プログラム (329課題を採択)
<p>「最先端研究開発支援プログラム運用基本方針」 (平成21年6月19日総合科学技術会議決定)</p> <p>総合科学技術会議が以下の事項を実施するという枠組を決定</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 基金のフォローアップ</li><li>(2) 研究課題のフォローアップとして<ul style="list-style-type: none"><li>① 研究支援担当機関からの聴取</li><li>② 中心研究者からの聴取(中間評価としての位置付け)</li></ul></li><li>(3) 研究課題の事後評価</li></ul>	<p>「最先端・次世代研究開発支援プログラム運用基本方針」 (平成22年2月3日総合科学技術会議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1. 次世代プログラム運営会議(※)が以下の事項を実施し、<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 基金のフォローアップ</li><li>(2) 研究課題の中間評価</li><li>(3) 研究課題の事後評価</li></ul></li><li>2. 日本学術振興会が研究開発を進捗管理するという枠組を決定</li></ul> <p>(※)科学技術政策担当政務三役及び有識者議員により構成</p>

## 今回明確にすべき事項

- フォローアップ及び評価の具体的な推進体制及び実施方法
- 評価の一環として、研究開発終了後に研究課題の事後評価と併せてプログラムの事後評価、研究開発終了一定期間経過後に追跡評価を実施すること